

ラブ・クロス主宰

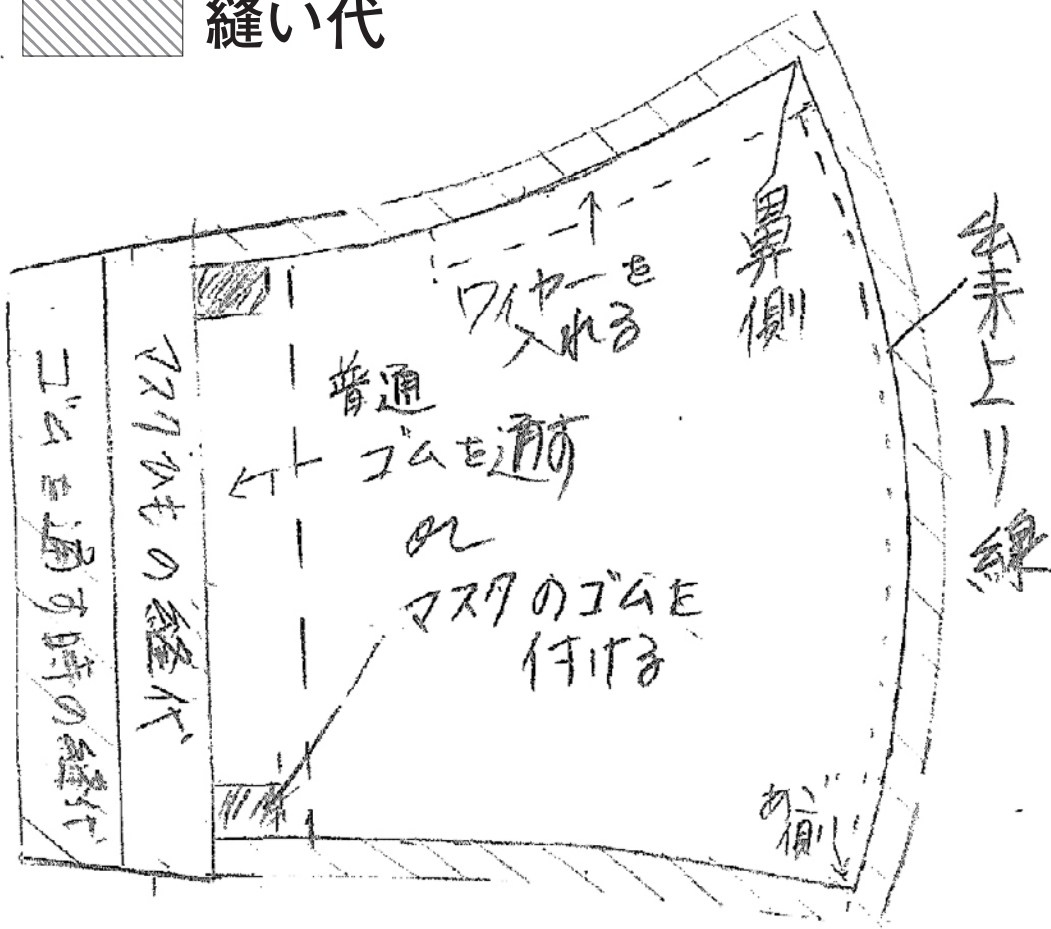
杉田正子^{さん}

身近な素材で手作りマスク

コーデイネートも楽しく

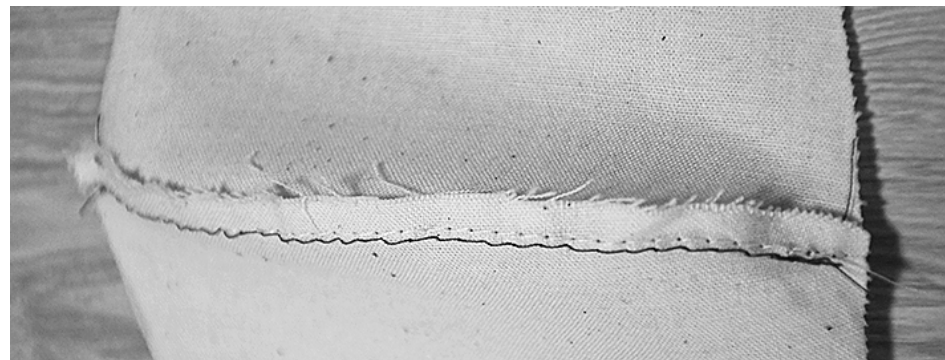
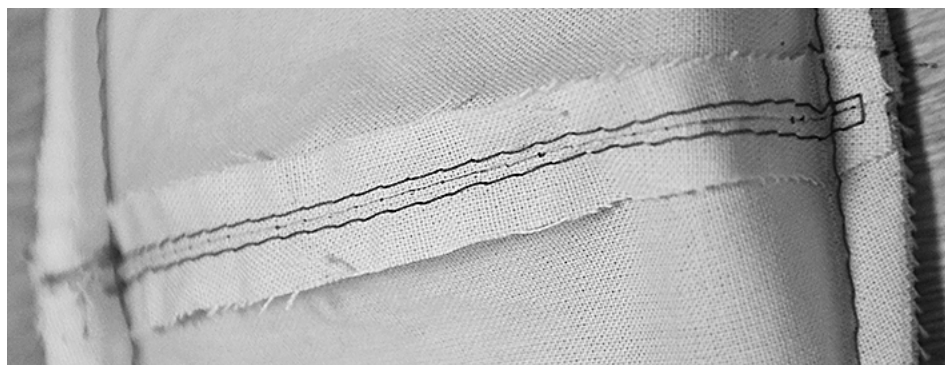
本紙の13日付紙面に掲載した布を愛する会ラブ・クロス主宰の杉田正子さんによる手作りマスクの記事に、多くの読者から問い合わせなどが寄せられました。そのため杉田さんから作り方の詳細を教わり、あらためて紹介します。手作りマスクは古布や手ぬぐいなど身近な素材を使用し、服装に合わせて選ぶことができるのが魅力です。素材は表布に綿、裏布にガーゼや手ぬぐいなどがお勧めです。綿は洗濯後に縮まないよう、あらかじめ水を通して乾かす「地直し」を行います。また、マスクと口元の間に縦6疋、横10疋のガーゼなどを挟むと、口紅などで汚れずに便利です。

縫い代



手作りマスクの型紙

マスクの内側に6×10疋のガーゼ、手ぬぐいなどを挟んでおくと口紅も付かず便利です



② ①を表に返し、それぞれ中心にステッチをかける。裏側はワイヤが通りやすいように片側に倒す (写真上が普通のステッチ、下が片側のステッチ)

① 型紙に沿って裁断した表布、裏布各2枚を中表(裏面を表に返す)にしてそれぞれ縫い合わせる(上が表布、下が裏布)

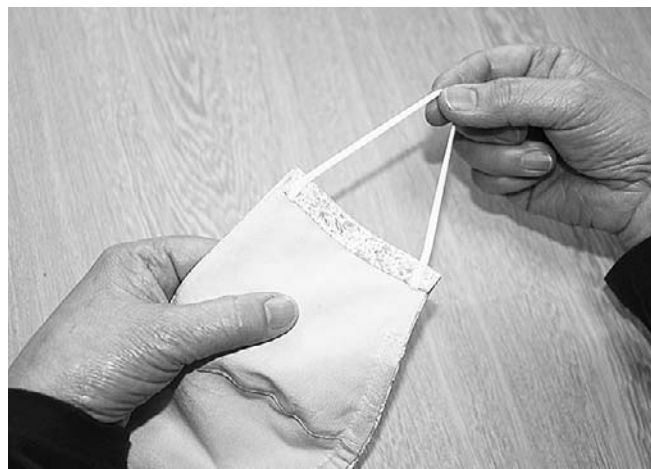


材料

- ・表、裏の布各2枚(型紙に沿って裁断したもの。表の布は5〜6疋ほど大きいと仕上がりがきれいになる)
- ・不用になったマスクのゴムひも2本(洗って消毒したもの)
- ・不用になったマスクのノーズワイヤ(ゴムひもと同様。園芸用のビニールタイも可)
- ・針と糸



完成したマスク



④ ③を表に返し、左右の端を二つ折りにしてゴムひもを挟んで縫う。普通のゴムひもの場合は、ステッチを広めにかけてその間にゴムひもを通す



③ ②を重ね、中表にして上下を縫う。表に返してから、ワイヤを入れるスペース(鼻側の端から1疋ほど)を縫い、ワイヤを入れてからとじる(写真)